

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>4.3</b>
<b>Q-1 室内環境</b>			0.40			<b>4.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>4.7</b>	0.15	-	-	<b>4.7</b>
1.1 騒音		<b>5.0</b>	0.40	-	-	
1.1.1 暗騒音レベル	チャペル暗騒音35以下を設定	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
1.1.2 設備騒音対策			-			
1.2 遮音		<b>4.4</b>	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能	遮音性能T-2	<b>5.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
1.2.2 界壁遮音性能	D-40を採用	<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	スラブ厚150mm+直貼木質床材(合計厚180mm)	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚150mm+直貼木質床材(合計厚180mm)	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
1.3 吸音	床、天井、壁に吸音材を適宜使用	<b>5.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.6</b>	0.35	-	-	<b>3.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.1.1 室温設定		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性			-			
2.1.3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
2.1.4 ゾーン別制御性			-			
2.1.5 温度・湿度制御			-			
2.1.6 個別制御			-			
2.1.7 時間外空調			-			
2.1.8 監視システム			-			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
2.3 空調方式	チャペル(大空間)は床吹出を採用	<b>5.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-	<b>3.8</b>
3.1 屋光利用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.1.1 屋光率		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
3.1.2 方位別開口			-	<b>3.0</b>	-	
3.1.3 屋光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア			-			
3.2.2 屋光制御	カーテン、庇(軒の出)により制御	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.3.1 照度		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
3.3.2 照度均斉度			-			
3.4 照明制御	器具列毎のリモコン制御	<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	-	-	<b>4.4</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質	全面的にJAS☆☆☆☆以上を採用	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
4.1.2 アスベスト対策			-			
4.1.3 タンク・カビ等			-			
4.1.4 レンガ・セラ対策			-			
4.2 換気		<b>3.6</b>	0.30	-	-	
4.2.1 換気量	建築基準法を満たす1.4倍以上の換気量(ビル管法対象外)	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4.2.2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4.2.4 給気計画			-			
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	全館禁煙エリア	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.4</b>	0.40	-	-	<b>4.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1.1.1 広さ・収納性			-	<b>3.0</b>	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応			-	<b>3.0</b>	-	
1.1.3 バリアフリー計画	バリアフリー法の利用者円滑基準を満たしている	<b>4.0</b>	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.40	-	-	
1.2.1 広さ感・景観	チャペル・多目的ホール天井高3.2m以上	<b>5.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	
1.2.2 リフレッシュスペース			-			
1.2.3 内装計画	意匠性、機能性、照明計画等を内観パース作成により事前検証	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.8</b>	0.31	-	-	<b>3.8</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	重要度係数1.25を採用	<b>4.0</b>	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.4</b>	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁躯体の外側にレンガ積み	<b>5.0</b>	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁仕上: プラスターボード、木製合板等	<b>5.0</b>	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔	16年以上~30年未満	<b>4.0</b>	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔	16年以上	<b>4.0</b>	0.29	-	-	
2.3 適切な更新			-			
2.3.1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新			-			
2.3.2 配管・配線材の更新			-			
2.3.3 主要設備機器の更新			-			
2.4 信頼性		<b>3.2</b>	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブルの使用及び精密機器を1F以上に配	<b>4.0</b>	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.9</b>	0.29	-	-	<b>3.9</b>
3.1 空間のゆとり		<b>4.4</b>	0.31	-	-	
3.1.1 階高のゆとり	階高3.7m以上	<b>4.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長比重率 0.1以下(中庭型プランの採用)	<b>5.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3.2 荷重のゆとり		<b>3.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	-	
3.3 設備の更新性		<b>4.2</b>	0.38	-	-	
3.3.1 空調配管の更新性		<b>3.0</b>	0.17	-	-	

	2	給排水管の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	4.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性	室外機はテラスに集約設置	5.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース	室外機はテラスに集約設置	4.0	0.22		-	
<b>Q-3</b>	<b>室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	5.0
	1	生物環境の保全と創出	グラウンド等の屋外運動施設を除き可能な限り緑化整備を行う	5.0	0.30		-	5.0
	2	まちなみ・景観への配慮	周辺地域からの比叡山の見え方に配慮	5.0	0.40		-	5.0
	3	地域性・アメニティへの配慮		5.0	0.30		-	5.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	街路樹の整備(保存、移植、新植)、歩道の拡幅	5.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	緑化整備、ピロティを設置	5.0	0.50		-	
<b>LR</b>	<b>建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.8</b>
<b>LR-1</b>	<b>エネルギー</b>			-	0.40		-	3.9
	1	建物の熱負荷抑制	屋根、外壁に外断熱施工	5.0	0.30		-	5.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.20		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		-	-		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	1.00		-	
	3	設備システムの高効率化	個別空調方式採用による搬送動力の軽減	3.0	0.30		-	3.0
	4	効率的運用		4.5	0.20		-	4.5
	4.1	モニタリング	主要システムの効率性能評価を行う	4.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値を計画	5.0	0.50		-	
<b>LR-2</b>	<b>資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	3.4
	1	水資源保護		3.4	0.15		-	3.4
	1.1	節水	自動水栓、節水型便器の採用	4.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム		3.0	0.67		-	
	2	雑排水利用システム		3.0	0.33		-	
	2	低環境負荷材		3.4	0.85		-	3.4
	2.1	資源の再利用効率		3.0	0.35		-	
	1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67		-	
	2	非構造材料の再利用効率		3.0	0.33		-	
	2.2	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04		-	
	2.3	有害物質を含まない材料		3.0	0.08		-	
	2.4	既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18		-	
	2.5	部材の再利用可能性	仕上材と躯体が分別可能。PS、EPSの集約化	5.0	0.18		-	
	2.6	フロン・ハロンの回避		3.3	0.18		-	
	1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用しない	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
<b>LR-3</b>	<b>敷地外環境</b>			-	0.30		-	4.3
	1	大気汚染防止	大型汚染防止法の対象施設を設置しない	4.0	0.15		-	4.0
	2	騒音・振動・悪臭の防止		4.3	0.15		-	4.3
	2.1	騒音	規制基準より-10dB以下に抑えられている。	5.0	0.33		-	
	2.2	振動	規制基準より-5dB以下に抑えられている。	5.0	0.33		-	
	2.3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.15		-	3.0
	3.1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	3.2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	4	光害の抑制	広告塔なし。外壁レンガ積み(ガラス窓部には庇、屋根を設置)	5.0	0.10		-	5.0
	5	温熱環境悪化の改善	植栽帯(低、中、高木)の整備、パーゴラ、ピロティ、庇の設置	5.0	0.30		-	5.0
	6	地域インフラへの負荷抑制		4.3	0.15		-	4.3
	6.1	雨水処理負荷抑制		-	-		-	
	6.2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	6.3	交通負荷抑制	駐車場、緊急車両、メンテナンス車両動線の整備	5.0	0.33		-	
	6.4	廃棄物処理負荷	一団地認定区域内に分別可能なストックスペースを計画	5.0	0.33		-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		3380 m <sup>2</sup>	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムのERRIによる評価	3.0	-	-	-	3.0
	高効率化 個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	
3.3	照明設備	4.0	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	